

平成29年7月13日

静岡県中西部地区でロボット（ダヴィンチ）支援下 拡大胸腺摘出手術を初めて実施

<概要>

浜松医科大学 外科学第一講座、船井和仁准教授らは、ロボット支援下手術（ダヴィンチ手術）を呼吸器外科領域でも新たに臨床試験として開始し、7月11日 1例目の手術を行いました。従来の開胸手術より小さな傷で低侵襲な手術が可能で、また胸腔鏡下手術よりクオリティの高い手術が可能な新しい手術法です。

<背景>

ロボット支援下手術（ダヴィンチ手術）は主に泌尿器科領域で行われており、前立腺手術ではすでに標準術式となっています。ダヴィンチ手術の特徴は、高精細な3Dハイビジョンカメラによる鮮明な立体画像を拡大視しながら手術ができること、7つの関節を持った鉗子が自在に動き人間の手と同等以上に繊細な手術操作が可能で、生理的な手ぶれをコンピューター制御で抑え安全な操作が可能で、今後多方面での応用が期待されています。当院では、da Vinci Xi という、最新機種を導入しています。

<研究の成果>

今回、浜松医科大学呼吸器外科グループでは、胸腺腫症例に対して、ダヴィンチ拡大胸腺摘出術を行い、成功しました。当院での初めての症例のため、本邦での呼吸器外科領域ダヴィンチ手術の第一人者である鳥取大学の中村廣繁教授をプロクターとして招き手術が行われました。右からの片側アプローチで炭酸ガスを胸腔内に送気しながら手術が行われ、出血もほとんどなく手術は成功しました。

<今後の展開>

今回の手術成功により縦隔腫瘍だけでなく、今後は肺がん症例に対しても静岡県初のダヴィンチ手術を予定しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

浜松医科大学 外科学第一講座（〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1）
准教授 船井和仁
Tel: 053-435-2276 / Fax: 053-435-2272
E-mail: kfunai@hama-med.ac.jp